

令和7年5月22日
商工部人材・働き方政策課
商工部産業支援課

NPO法人長岡産業活性化協会NAZE

ものづくり産業を支えて「NAZE20年」次の展開へ 高度外国人材の活用と製造業のDX化を促進！

NPO法人長岡産業活性化協会NAZE^{*}（会長 大井尚敏）は、企業、教育機関、産業支援機関、地域金融機関、商工団体、行政などが連携して新技術の開発や新事業を生み出す組織として平成17年に設立されました。

長岡市は、製造業のデジタル化支援やIT人材の確保などNAZEが進める事業を支援してきました。設立20周年の節目となる今年、NAZEはAIを活用した産業界のDX支援や、モンゴル高専人材の活用など、人材不足等の課題解決に向けた取り組みを強化されています。

長岡市は、今回のモンゴルへの視察を含め今後もNAZEと連携しながらイノベーションとDX支援を進め、製造産業のさらなる成長を促進していきます。

※平成17年4月に長岡地域のモノづくり産業の活性化を目的に産業界が主体となって設立された組織。平成21年4月にNPO法人となり、会員数106事業所。

1 モンゴルへの視察団派遣

長岡市が提案し、NAZEが実施主体となって取り組んでいる、国際協力機構（JICA）の「草の根技術協力事業」の一環として、視察団がモンゴルを訪問します。長岡市は、NAZE、長岡工業高等専門学校、JICAからの要請を受けての訪問となります。モンゴル政府関係省庁やモンゴルの高専などとの意見交換や視察を通じて、モンゴル高専人材の市内企業受入を加速し、人材確保による企業体質の強化、モンゴル国とのさらなる連携強化と高度外国人材の市内企業への就業を後押ししていきます。

（1）日程

長岡市関係者：5月27日～31日

NAZE関係者：5月26日～29日

草の根業務関係者：5月26日～31日

（2）参加者

長岡市長、長岡産業活性化協会NAZE会長など 総勢19人。

（3）主な視察先

経済開発省（ロブサンニヤム・ガントゥムル第一副首相兼経済開発相）、教育省（ナヤンバヤル・プルプスレン教育相）、在モンゴル日本国大使館、モンゴル工業技術大学付属高専（IETモンゴル高専）など。

詳細は、別紙1「モンゴルへの視察団派遣」、別紙2「参加者一覧」のとおり

2 製造業AI活用推進事業

(1) AI利活用の拠点を設置

生産性向上や省人化などに高い効果が期待できるAIを、NAZE会員が、自由に利用できるAI活用の拠点を今年7月に米百俵プレイス「ミライエ長岡」6階のNTTスマートイノベーションラボNESTに開設します。
また、拠点内に設置するAIサーバーをNAZEの会員に無料で開放します。

【期待する効果】

- ・サーバー、クラウド利用等にかかる費用の軽減
- ・安心して使用できるセキュリティの提供
- ・ファイル自動タグ付けアプリの試行
- ・蓄積されるデータや活用事例の共有（ナレッジ）
- ・セミナーやワークショップ等の教育プログラムで使用（リテラシー向上）

(2) 技遊人コミュニティの形成

AI活用の拠点をAI、プログラミングの関心が高い“技遊人”が自由に集える場とし、コミュニティの形成を図ります。
また、“技遊人”コミュニティに企業現場の課題を持ち込み、AIによる課題解決につながるアプリケーションなどの開発につなげます。

【期待する効果】

- ・高度な技術者のコミュニティによるアプリケーションなどの開発
- ・気軽に集えるコミュニティの拠点から未来のIT人材を育成

3 NAZE設立20周年記念事業

(1) キャンペーンロゴの活用

(2) 記念講演会の開催

(3) 記念番組の放映

詳細は、別紙3「令和7年度の主な事業」のとおり

問い合わせ：モンゴル訪問に関すること	人材・働き方政策課 星野 電話0258-39-2228
NAZEに関すること	産業支援課 川上 電話0258-39-2222
産業支援に関すること	産業支援課 早川 電話0258-39-2222